

令和4年度
教育に関する事務の管理及び
執行の点検及び評価報告書
(令和3年度の事務対象)

令和4年9月
佐渡市教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価について

1 点検及び評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の規定により、教育委員会は毎年度、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民から信頼される教育行政を目指すため、令和3年度の佐渡市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、報告するものです。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の方法

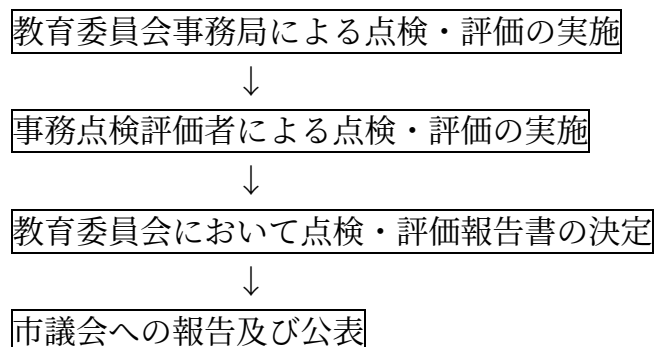
（1）点検及び評価の対象

点検及び評価は、佐渡市教育委員会が執行している事務・事業のうち、令和2年9月に策定した「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画」に掲げられている、「6つの基本目標を達成するための18の施策」の項目について行いました。

なお、その項目に属する事業について、事業の評価票を作成し、（目標（成果）指標、目標値、実績値、成果（評価）、課題と対策、今後の事務事業の改善案を記入）自己評価を実施しました。

(2) 点検及び評価の手順

次の手順で点検及び評価を行いました。



(3) 自己評価ランク

- 【A】 目標を上回る成果に達したもの（100%以上）
- 【B】 ほぼ目標どおり（80%以上～100%未満）
- 【C】 目標の成果に達しなかったもの（80%未満）

3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価を実施するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条第 2 項の規定による知見の活用を図るため、選任した学識経験者 2 人から教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）について、外部評価を受けるという形で実施しました。

○佐渡市教育委員会 事務点検評価者（令和 4 年度）

氏 名	経 歴 等
児 玉 功	元佐渡市社会教育委員 委員長
和 田 大 二	元佐渡市立両津中学校長

目 次

1	教育委員会の活動状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
①	教育委員会会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
②	教育委員会会議以外の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2	教育委員会の事務の管理及び執行の状況・・・・・・・・・・	6
①	総合教育センター事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	6
②	総合教育センター事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	8
③	自校給食・給食センター管理運営事業（学校教育課）・・	9
④	特別支援教育推進事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	11
⑤	総合教育センター事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	13
⑥	総合学習支援事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	14
⑦	国際教育A L T事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	16
⑧	学校I C T活用サポート事業（学校教育課）・・・・・・・・	17
⑨	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業（学校教育課）・・	18
⑩	心の教育支援事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	19
⑪	総合教育センター事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	21
⑫	グローバル人材育成事業（学校教育課）・・・・・・・・・・	22
⑬	生涯学習事業（社会教育課）・・・・・・・・・・・・・・・・	23
⑭	公民館活動推進事業（社会教育課）・・・・・・・・・・	25
⑮	スポーツ推進事業（社会教育課）・・・・・・・・・・	26
⑯	読書推進事業（社会教育課）・・・・・・・・・・	27
⑰	博物館・資料館管理運営事業（社会教育課）・・・・・・・・	29
⑱	世界遺産登録推進事業（世界遺産推進課）・・・・・・・・	31
⑲	ジオパーク推進事業（社会教育課）・・・・・・・・・・	33
⑳	埋蔵文化財調査保存事業（世界遺産推進課）・・・・・・・・	35

②①	有形文化財保存活用事業（世界遺産推進課）	3 6
②②	芸術事業（社会教育課）	3 7
②③	佐渡学推進事業（社会教育課）	3 9
②④	青少年育成活動事業（社会教育課）	4 1
②⑤	学校教育振興事業（学校教育課・社会教育課）	4 3
②⑥	学校・家庭・地域の連携促進事業（社会教育課）	4 4
②⑦	児童援助事業・生徒援助事業（教育総務課）	4 6

参考：評価	施策実施上注目すべき数値の一覧	4 7
-------	-----------------	-----

3	総評	4 9
---	----	-----

1 教育委員会の活動状況について

① 教育委員会会議の開催状況

定例会（12回） 臨時会（7回）

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和3年第6回 定例会 (R3.4.26)	議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号 報告事項1 報告事項2 報告事項3 報告事項4 報告事項5 報告事項6 報告事項7	佐渡市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について 佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市文化財の指定について 佐渡市宿根本地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市図書館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市博物館協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市学校運営協議会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市いじめ防止対策等に関する委員会委員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市不登校児童生徒訪問指導員の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の人事異動に係る専決処理について 学校耳鼻科医の委嘱に係る専決処理について 佐渡市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市スポーツ推進計画の策定について 学校情報について 推薦書（原案）について （仮称）相川認定子ども園建設工事について 佐渡市奨学金制度について 新型コロナウイルス感染防止ガイドラインについて 第4回佐渡市新たな学校教育環境整備検討懇談会について 佐渡地区における義務教育諸学校教用図書の採択等について
令和3年第7回 臨時会 (R3.5.8)	議案第41号	佐渡市地域ゆかりの偉人マンガ製作活用検討会開催要綱の制定について
令和3年第8回 定例会 (R3.5.27)	議案第42号 報告事項1 報告事項2 報告事項3	佐渡市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市スポーツ推進計画について 佐渡市スポーツ全国大会等出場者激励金支給要綱及び佐渡市文化関係大会等出場者激励金支給要綱の制定について
令和3年第9回 定例会 (R3.6.28)	議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 報告事項1	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付に係る共済掛金の保護者負担金の徴収に関する要綱の制定について 佐渡市就学援助事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について 学校薬剤師の委嘱に係る専決処理について 佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について 学校情報について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和３年第 10 回 臨時会 （R3.7.13）	報告事項 1	市内小学校における学校給食事故について
令和３年第 11 回 臨時会 （R3.7.19）	議案第 47 号	令和４年度・令和５年度・令和６年度佐渡地区中学校教科用図書「社会（歴史的分野）」の採択について
	議案第 48 号	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付に係る共済掛金の保護者負担金の徴収に関する要綱の制定について
	議案第 49 号	佐渡市就学援助事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について
	議案第 50 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について
	議案第 51 号	佐渡市文化振興ビジョン検討懇談会開催要綱の制定について
令和３年第 12 回 定例会 （R3.7.30）	議案第 52 号	佐渡市宿根木地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について
	議案第 53 号	佐渡市認定こども園条例（佐渡市立幼稚園条例の一部を改正する条例）の制定について
	議案第 54 号	佐渡市立幼稚園規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第 55 号	佐渡市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する告示の制定について
	議案第 56 号	佐渡市学校給食センター条例施行規則の一部改正する規則の制定について
	議案第 57 号	学校医の担当校の変更について
	議案第 58 号	損害賠償の額を定めることについて
	報告事項 1	学校情報について
	報告事項 2	損害賠償の額を定めることについて
令和３年第 13 回 定例会 （R3.8.27）	議案第 59 号	佐渡市学校事故対応に関する調査委員会開催要綱の制定について
	議案第 60 号	佐渡市相川地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について
	議案第 61 号	佐渡市教育委員会職員の人事異動について
	報告事項 1	学校情報について
令和３年第 14 回 定例会 （R3.9.30）	議案第 62 号	教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
	報告事項 1	学校情報について
	報告事項 2	令和３年度全国学力・学習状況調査（佐渡市児童生徒）の結果について
	報告事項 3	損害賠償の額を定めることについて
	報告事項 4	（仮称）相川認定こども園の名称決定について
令和３年第 15 回 定例会 （R3.10.28）	報告事項 5	佐渡市生涯学習推進計画（案）について
	議案第 63 号	佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について
	議案第 64 号	佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等に係る専決処理について
	議案第 65 号	佐渡市教育委員会職員の懲戒処分に係る専決処理について
	議案第 66 号	佐渡市教育委員会職員の分限処分に係る専決処理について
	議案第 67 号	佐渡市教育委員会職員の人事異動について
	報告事項 1	学校情報について
令和３年第 16 回 臨時会 （R3.11.22）	協議事項	佐渡市の図書館における掲示物のあり方について
	議案第 68 号	市教職員の人事異動内申について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和３年第１７回 定例会 （R3.11.29）	議案第 69 号 議案第 70 号 議案第 71 号 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市学校事故対応に関する調査委員会委員の委嘱に係る専決処理について 学校歯科医の委嘱に係る専決処理について 学校医の委嘱に係る専決処理について 学校情報について 佐渡市文化振興ビジョンの策定に係る中間報告について
令和３年第１８回 臨時会 （R3.12.17）	協議事項	令和４年度以降の組織再編に伴う佐渡市教育委員会事務局組織について
令和３年第１９回 定例会 （R3.12.23）	議案第 72 号 議案第 73 号 議案第 74 号 議案第 75 号 報告事項 1 報告事項 2 報告事項 3 報告事項 4	佐渡市立学校管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市部活動改革検討懇談会開催要綱の制定について 佐渡市文化財保護審議会への諮問について 佐渡市総合体育館愛称検討会議開催要綱の制定について 学校情報について 佐渡市新たな学校教育環境整備計画について 佐渡市公立保育園・幼稚園・認定こども園運営基本指針の策定について 佐渡市総合計画策定状況について
令和４年第１回 定例会 （R4.1.28）	議案第 1 号 議案第 2 号 協議事項 1 協議事項 2 報告事項 1 報告事項 2	佐渡市外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則の制定について 佐渡市地区公民館分館長の委嘱に係る専決処理について 佐渡市公立保育園・幼稚園・認定こども園運営指針（素案）について 佐渡市小学校・中学校再編統合計画（素案）について 学校情報について 令和４年度当初予算の概要について
令和４年第２回 臨時会 （R4.2.14）	協議事項 1 協議事項 2 報告事項 1 報告事項 2	令和４年度教育行政方針について 佐渡市文化振興ビジョン（案）について 年度末の学校等の行事について 佐渡市小学校・中学校再編統合計画（素案）について
令和４年第３回 臨時会 （R4.2.18）	議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号	佐渡市教育委員会職員の懲戒処分等について 佐渡市教育委員会職員の分限処分について 佐渡市教育長の給与の減額に関する条例の制定について

回（開催日）	審議事項及び報告事項	
令和4年第4回 定例会 (R4.2.22)	議案第6号	佐渡市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議案第7号	佐渡市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
	議案第8号	佐渡市教育委員会事務局の長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令の制定について
	議案第9号	管理職教員の人事異動内申について
	議案第10号	佐渡市宿根木地区歴史的景観審議会委員の委嘱に係る専決処理について
	報告事項1	学校情報について
	報告事項2	「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録に向けた状況について
	報告事項3	あいかわこども園の開園について
	報告事項4	佐渡市子どもが元気な佐渡が島（たからじま）条例の制定について
	報告事項5	損害賠償の額を定めることについて
令和4年第5回 定例会 (R4.3.17)	議案第11号	佐渡市伝統文化等保存支援補助金交付要綱及び一般財団法人佐渡文化財団に関する検討会開催要綱を廃止する告示の制定について
	議案第12号	佐渡市いじめ防止基本方針の改定について
	議案第13号	学校医の委嘱について
	議案第14号	学校薬剤師の委嘱及び担当校の変更について
	議案第15号	佐渡市教育委員会職員の分限処分について
	議案第16号	佐渡市教育委員会職員の人事異動について
	議案第17号	教職員の人事異動内申に係る専決処理について
	議案第18号	佐渡市スポーツ推進委員の委嘱について
	議案第19号	佐渡市ジュニアスポーツクラブ登録制度に関する要綱の一部を改正する告示の制定について
	報告事項1	学校情報について
	報告事項2	佐渡市学校事故対応に関する調査委員会 調査報告について
	報告事項3	令和4年度佐渡市学校教育の重点（案）について
	報告事項4	佐渡市立図書館ビジョン事業実施計画評価（令和2年度）について

② 教育委員会会議以外の活動状況
総合教育会議

回（開催日）	会 場	議 題
令和３年度第１回 （R4.2.18）	金井コミュニティセンター ２階 大会議室	１ 佐渡市小学校・中学校再編統合計画（素案）について ２ 佐渡市総合計画策定経過について ３ 佐渡市教育コンソーシアム事業経過について

勉強会（学習会）

開催日	会 場	議 題
（R3.7.30）	佐渡島開発総合センター ２階 第３会議室	１ 令和３年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
（R3.10.28）	佐渡島開発総合センター ２階 第３会議室	１ 佐渡市いじめ防止基本方針改定（案）について
（R3.12.23）	佐渡島開発総合センター ２階 第３会議室	１ 佐渡市いじめ防止基本方針の改定（パブリックコメント後）について

会議及び研修会

開催日	会議名等
（R3.5.31～6.25）	令和３年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会研修会（YouTube 配信）
（R3.6.29）	令和３年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会（書面開催）
（R3.9.27）	令和３年度新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（書面開催）

その他事業等への参加

開催日	会議名等
（R3.4.1）	辞令交付式
（R3.5.27）	佐渡中央文化会館改修工事の現地視察
（R3.6.28）	複式学級授業の視察（行谷小学校）
（R3.10.20）	内海府小学校公開授業の視察（前浜小との遠隔授業）
（R3.11.20）	佐渡市成人式（令和２年度、令和３年度）

2 教育委員会の事務の管理及び執行の状況

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan		事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名		総合教育センター事業					
教育大綱基本方針		佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標		1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策1 学ぶ意欲を高め確かな学力を育成する教育】					
事業概要		教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催し、学力の向上と家庭学習習慣の定着を図る。					
対象		教職員、児童、生徒					
意図（目標）		教職員の指導力向上により、児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標			単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式				目標値	実績値	
全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）			%	－ （中止）	小＋1 中±0	小国-0.7 小算-3.2 【C】 中国-0.6 中数-3.2 【C】	小全国 平均以上 中全国 平均以上
算式	平均正答率の全国との差						
標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）			%	小84 【B】 中62 【A】	小90 中60	小80 【B】 中52 【B】	小90 中60
算式	偏差値50を上回った教科数／実施教科数						

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	学校支援訪問における各校への指導			—	80	100	100
	指標	学校支援訪問の肯定的評価	%				
2	校長会と連携した学力向上の取組			—	3	3	2
	指標	校長会との連携会議の開催回数	回				
3	総合教育センター事業			9	12	12	12
	指標	センター主催研修会実施回数	回	(356人)	(450人)	(396人)	(450人)

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学校支援訪問における各校への指導 【B】	【成果】 学校支援訪問での学校評価及び授業への指導について、肯定的評価が100%だった。その学校それぞれに適切な指導がなされたと判断する。 【課題と対策】 支援訪問での効果はあると思われるが、指導内容をどこまで活かすかは学校により差があると思われる。いかに組織的に活かせるか、組織として機能するように訪問後の追跡により改善策や対応策まで評価できるとよい。				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	校長会と連携した学力向上の取組 【B】	【成果】 小中校長会の学力向上の取組についての情報共有ができた。小中の取組の共有や協働取組、市教委との意見交換ができた。 【課題と対策】 I C T活用研修会を校長会や情報教育部等を活かし、実効性のあるものにしていきたい。また、Web配信診断問題の効果的活用を重点に据え、家庭学習に関連付けたり、過去問題を活用したりする。
3	総合教育センター事業 【B】	【成果】 コロナウイルス感染拡大防止対策のため、オンライン研修に切り替えたものが3つ、参加者を制限したものが1つあったが、すべての研修会を実施。計396名の参加があった。 【課題と対策】 オンラインを活用した研修もあり、コロナ対応をしながら実施できた。Teamsの活用については、ブレイクアウトルームやチャンネル、チャット等を効果的に使いこなせるような研修もしていきたい。

◆A c t i o n	今後の事務事業の改善案
佐渡総合教育センター主催の研修と市教委指導主事等の学校支援訪問、下越の学力向上推進システム（市町村支援事業）の研修、その他の研修会を効果的・有機的につなぎながら、より成果を上げたい。特に令和4年度は、I C T活用の実践的研修の充実とメディアコントロールの指導に力を入れたい。 また、研修後の振り返りに加えて、その後の活かし方についても追跡調査し、研修内容の浸透を図りたい。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策2 豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ道德教育】					
事業概要	教育センター主催研修講座等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	児童生徒に確かな学力をつけ、夢と誇りをもって自立する人づくりを目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
すべての学級で道德の授業を公開している割合（小・中）		%	100	100	77	100
算式	実施校数／市内小中学校数		【A】		【C】	
人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）		%	86	100	97	100
算式	実施校数／市内小中学校数		【B】		【B】	

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	総合教育センター講座(道徳教育研修講座)				—	70	100	100
	指標	道徳教育研修講座の肯定的評価		%				
2	総合教育センター講座(人権教育、同和教育研修講座)				—	70	100	100
	指標	人権教育、同和教育研修講座の肯定的評価		%				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	総合教育センター講座（道德教育研修講座） 【B】	【成果】 上越教育大学の田村教授にお越しいただき、講義と模擬授業をと おして「受容を大切にした道德授業」を学んだ。創造する道德授業 の指導案づくりの演習も好評であった。 【課題と対策】 受講者を道德主任に限定することなく、多くの教員に対面での研 修受講の機会をつくり、道德の授業公開に繋げる。					
2	総合教育センター講座（人権教育、同和教育研修講座） 【A】	【成果】 「佐渡扉の会」の石崎氏から、現地学習を含む有意義な学びの時 間となった。今年度は同和加配の相川中学校の実践発表を行った。 アンケートの感想でも、すべて肯定的評価を得た。 【課題と対策】 石崎氏を頼りすぎず、独自の内容を盛り込み継続した研修として いく。					

◆Action	今後の事務事業の改善案
	令和3年度はコロナウイルス感染症の影響により、授業等の外部公開を制限したことにより、公開できなかった学校があった。令和4年度は積極的な授業公開を推進し、保護者、地域への啓発も推進する。 道徳については、今後も指導法や家庭、地域との連携の在り方について研修を継続していく。今後も各種研修の内容の充実と実施時期の検討により、教職員が参加しやすい時期に、特別の教科道徳としての授業改善に役立つ研修を推進するとともに、いじめの未然防止に資する取組とする。細事業として総合教育センターの「道徳教育研修講座」「人権教育、同和教育研修講座」の肯定的評価を指標とし、それぞれ100%を目標値とする。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan		事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名		自校給食・給食センター管理運営事業					
教育大綱基本方針		佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標		1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策3 健康でたくましい心身をはぐくむ教育】					
事業概要		自校方式1校、学校給食センター7施設で、地産地消を推進し、安全・安心な学校給食を提供する。					
対象		教職員、児童、生徒					
意図（目標）		地場産物の使用拡大を目指し、学校給食を生きた食材の教材とし、生産者等への感謝の気持ちを育み、郷土を愛する気持ちを養う。					
目標（成果）指標			単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式				目標値	実績値	
学校給食における地産地消の献立の実施状況(小・中)			%	20 【C】	30	19 【C】	21
算式	実績値＝佐渡産野菜使用率＋水産物使用率の平均						
栄養教諭・学校栄養職員が参画した食に関する授業を実施している割合（小・中）			%	71 【C】	90	83 【B】	90
算式	実施校数／市内小中学校数						

◆D o		事務事業の目標（成果）指標						
枝番	事務事業を構成する主な細事業				2年度	3年度（評価年度）		4年度
	指標	目標（成果）指標		単位	実績値	目標値	実績値	目標値
1	米以外の地場産食材使用事業				野 菜	野 菜	野 菜	野 菜
	指標	米以外の地場食材年間使用量の割合（野菜、水産物）		%	17 水産物 22	30 水産物 30	14.2 水産物 23.7	17 水産物 25.7
2	食育指導案集活用				—	100	93	100
	指標	活用率		%				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	米以外の地場産食材使用事業 【C】	【成果】 昨年度、各青果に学校給食調理場から発注があったら、優先的に佐渡産野菜を納品するようお願いしたが、今年度は、必要数が揃わず、揃った時でも野菜の質により学校給食で使用できなかった。 また、令和2年度に運用が開始されたECサイト「さどまるしえ」の学校給食での利用については、支払い方法の調整がついていないため利用には至っていない。 【課題と対策】 野菜については、調理場の規模に見合った数量と質の確保、水産物については、給食費で賄える価格設定が望まれる。 R4年度から、農林水産振興課の事業により、学校給食で使用する佐渡産水産物の購入額の一部が補助される。この補助事業を積極的に利用し使用量の増加を図るため、各調理場の栄養士及び事務担当に事業説明と手続きを説明する。 また、令和2年度に運用が開始されたECサイト「さどまるしえ」を給食調理場でも利用できるよう農業政策課と調整を進めていく。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	食育指導案集活用 【B】	【成果】 佐渡市学校給食会総会及び学校給食研究会において各学校へ食育指導案集の活用と佐渡市食育指導計画の実施を依頼した。 年度末に行った食育指導に関するアンケート結果より、小学校は100%、中学校は85.7%の実施率であった。各学校からは「指導案集があることにより取り組みやすい」「見通しをもって授業ができる」等の前向きな意見をいただいている。 【課題と対策】 実施できなかった中学校に対して啓発していく必要がある。また、複式学級の学校では、2年に1度の食育指導を行うことになることもあるため、学校の実態を把握したうえで実施率を見ていく必要がある。

◆Action	今後の事務事業の改善案
上記の成果内容が、どれほど使用率上昇につながるか動向を注視していく。 これまで地産地消率を向上させるため様々な取り組みを行ってきたが、生産者の減少等により年々使用率は減少傾向にある。農業政策課との打合せの中では、地産地消コーディネーターのような調整役の配置も検討していくとのことであった。引き続き生産者や農業政策課、農林水産課とも引き続き協議を進め、地産地消率向上に努める。 また、食育の授業と合わせて、日頃から給食のマナーや正しい食べ方について観察し、必要に応じた指導ができるようにする。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	特別支援教育推進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	1 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育】					
事業概要	障がいに応じた適切な教育を行うため、学校における日常生活の介助や障がいに応じて学習活動のサポートを行う介助員を配置する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	幼児児童生徒それぞれの教育的ニーズを把握し、適切かつ必要な支援体制の整備に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
基準に基づく介助員の配置割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	配置人数／配置希望人数					
「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	作成・活用人数／作成必要人数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	介助員意識調査			—	2	2	2
	指標	介助員意識調査の実施回数	回				
2	個別の教育支援計画に係る指導			—	35	34	35
	指標	個別の教育支援計画に係る指導の実施校数	校				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価						
枝番	細事業名	成果及び課題と対策					
1	介助員意識調査	【成果】 各校において、介助員の意識や仕事上の悩みなどを聞き取り、改善しながら進めた。市教委から次年度の継続・異動等の希望調査を行い、働き甲斐のある職場の実現を図った。 【課題と対策】 各校管理職に介助員と職員・介助員同士の関係性にも配慮をお願いしながら、介助の資質向上を図っていく。					
	【A】						
2	個別の教育支援計画に係る指導	【成果】 35校中34校において個別の教育支援計画等の作成・活用を指導した。全ての学校で作成・活用していた。 【課題と対策】 1か校のみ訪問できなかった。その場合、電話等での確認をする等して、聞き取っていく必要がある。					
	【B】						

◆Action	今後の事務事業の改善案
	「個別の教育支援計画」等の作成は今年度も目標値を達成できた。発達障がいを含む障がいのある全ての児童生徒の合理的配慮に留意して作成した「個別の教育支援計画」等の活用状況について、今後も学校支援訪問時に確認していく。 また、「個別の教育支援計画」等の作成・活用を通して保護者と連携し、ともに児童生徒を見守るシステムを構築することを目指してきた。このシステムを継続し、保護者との連携を更に強めていく。 令和4年度も細事業として、「介助員意識調査の実施回数」を指標とし、目標値を2回とする。1回は各校での聞き取り、2回目は市教委からの継続・異動等希望の聞き取りとする。 また、「個別の教育支援計画に係る指導の実施校数」を指標とし、目標値を全学校35校とする。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進 【施策5 人間性や社会性の基礎を身に付ける幼児教育】					
事業概要	教育センター主催研修等、教員の研修講座を開催する。					
対象	教職員、幼児、児童					
意図（目標）	幼稚園、小学校教員の合同研修により互いの教育活動や目指す姿を共有することで、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）		%	73 【C】	100	64 【C】	70
算式	実施小学校数／市小学校数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標				単位	目標値	
1	学校支援訪問・校長会における指導				—	22	22	22
	指標	指導した小学校数						

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	学校支援訪問・校長会における各校への指導 【B】	【成果】 幼保との連携を各校への指導内容とし、全小学校において教育計画の確認と指導を実施した。 【課題と対策】 多くの学校で交流活動を3学期に計画しており、新型コロナウイルスの影響により中止とした学校があった。今後、実施時期の変更等も含め、柔軟な実施となるよう促していく。				

◆Action	今後の事務事業の改善案
今後も幼保小の円滑な接続を図るため、交流活動の意義や在り方について学校支援訪問、校長会を通じて指導、支援を継続する。また、「架け橋プログラム」の作成に向けた指導、情報提供を行っていく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合学習支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策6 佐渡を知り、愛し、誇りとするキャリア教育】					
事業概要	将来、佐渡に貢献できる人材を育成するため、小中学校において、郷土を愛し、夢と誇りを持ち、職業観を育むキャリア教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	・「佐渡学」を中核とした体験的な郷土学習への取組について指導、支援する。 ・中学校における職場体験活動を充実させるため、課題解決学習を取り入れた指導への支援と受入企業の拡充を進める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施中学校／全中学校					
「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施小学校／全小学校					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 (中学校)			100	100	100	100
	指標	実施中学校／全中学校	%				
2	支援訪問における指導			－	35	35	35
	指標	指導した学校数	校				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	職場体験に向けての事業所との合同準備会の実施 【A】	【成果】 事業所と学校の合同準備会を行うことで、ミッションの設定についての理解を深め、全ての中学校で課題解決型職場体験を実施することができた。 【課題と対策】 持続可能な取組にするためには事業所側の負担を軽減する必要がある。継続事業所については重複する研修内容を減らすことにする。また、事業所開拓や研修会の開催などの支援を継続していく。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	支援訪問における指導 【A】	【成果】 各小中学校に対して「わたしをかんガエルノート」を含めたキャリア・パスポートを教育計画に記載し、計画的に活用するように指導した。 【課題と対策】 キャリア・パスポートについての内容を教育計画に記載していない学校が14校となっている。今年度の支援訪問により35校全ての小中学校で教育計画に記載して計画的にキャリア・パスポートの指導が推進できるようにする。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	「課題解決型職場体験」を佐渡市の職場体験として定着させるため、関係各課、企業と連携して事業を進める。 「わたしをかんガエルノート」等を含めたキャリア・パスポートを整備し、全ての小学校と中学校で取組を進められるように支援する。また、新たに幼児用のシートも作成し、幼保小との連携を進める。更に、「わたしをかんガエルノート」等を有効活用するために、指導計画に位置付けられていない学校へは、支援訪問の際に、指導計画に確実に位置付け、計画的に活用するよう支援し、細事業として全35校の実施を目標値とする。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	国際教育ALT事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	英語を母国語とするALT（外国語指導助手）を任用し、小中学校に派遣して、コミュニケーション能力の育成と異文化交流を行い、国際教育を推進する。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	小学校へ外国語教育が本格的に導入されることを踏まえ、小・中連携を意識した英語指導法研修を進めるとともに、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合		%	100 【A】	100	69 【C】	80
算式	実施中学校区数／市中学校区数					

◆ D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	国際教育ALT事業				100 (1)	100 (2)	100 (1)	100 (1)
	指標	外国語指導助手の小・中接続のための研修・交流への参加率(実施回数)		% (回)				

◆Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	国際教育ALT事業 【B】	【成果】 令和3年度中に4名の新規ALTを受け入れ、巡回指導体制を強化することができた。また、ALTの指導力向上のための研修を1回（2日間）実施し、小中の効果的な接続等について研修を行った。 【課題と対策】 未だ従来の配置人数に達しておらず、ALT一人の巡回校が多い状態が続いており、ALTの負担は大きい。	

◆Action	今後の事務事業の改善案
ALTが巡回校の中で小中間の情報交換や連携推進の活動が活性化するためには、研修だけでなく、負担の軽減も必要である。従来の配置人数で巡回が行えるように配置を進めていく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	学校ICT活用サポート事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	2 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進 【施策7 世界と共生する人材を育成する教育】					
事業概要	学校における教職員のICT 機器活用をサポートし、負担軽減を図る。					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	ICT機器の導入、活用により、情報化社会に的確に対応できる人材を育成するとともに、すべての児童生徒に分かりやすい授業を提供し学力向上を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）		%	74 【C】	100	100 【A】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度（評価年度） 目標値	4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	
1	ICT支援員の配置			—	840h	987h
	指標	ICT支援員の活動時間	h			

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	ICT支援員の配置 【A】	【成果】 学校への定期訪問だけでなく、学校からの電話による問い合わせにも対応した。また、機器の操作法研修を多くの学校で実施し、学校での一人一台端末利用を推進した。 【課題と対策】 今後、一人一台端末のより一層の活用を推進する必要がある。

◆Action	今後の事務事業の改善案
令和4年度も機器のトラブル対応等、学校をサポートする体制構築に努めていく。また、一人一台端末がより日常的に活用されるよう教職員への研修や、情報提供に努めていく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策8 安全な学校環境づくり】					
事業概要	・佐渡市子ども安全応援隊員（スクールガード・リーダー）の依頼 ・佐渡市子ども安全応援隊員による通学路の見回り（8時間／月）					
対象	児童					
意図（目標）	児童が安心して登下校できる環境づくりを行う。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
通学路点検の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					
防災教育の実施割合（小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標				単位	目標値	
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業				12	15	12	15
	指標	リーダー数						

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 【B】	【成果】 通学路巡回による危険箇所の把握と学校への報告、防犯に効果があった。 【課題と対策】 スクールガードリーダーの確保が難しく、未配置地区の解消が進まない。未配置解消に向け学校運営協議会等と連携し、地域住民への理解と協力を得て募集を行っていく。

◆Action	今後の事務事業の改善案
他の防犯や交通安全に関する団体との連携強化、地域住民の理解による協力を高め、地域全体で見守り、安全を確保する体制の構築と意識の醸成を図る。 また、学校運営協議会を通じて「ながら見守り活動」等の導入を検討し、見守りの目を増やしつつ、スクールガードリーダーの確保も行っていく。 各学校への防災教育及び危機管理マニュアルの見直しについて指導を、年2回実施することを目標とする。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	心の教育支援事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	3 安全・安心な学校づくり 【施策9 安心して学べる学校づくり】					
事業概要	・心の教室相談員事業（中学校5校に6名の相談員を配置） ・不登校児童生徒訪問指導事業（不登校児童生徒の家庭を訪問） ・適応指導教室運営事業（あすなろ教室の運営、いじめ不登校電話相談）					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	・「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりを支援する。 ・不登校児童生徒への的確な対応を進めるため、新潟県が示す「子どもとともに1・2・3運動」佐渡市共通の「心の健康チェック」の活用を徹底するとともに、適応指導教室や訪問相談員との連携を進める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
いじめの解消率（小・中）		%	94 【B】	100	91 【B】	100
算式	いじめ解消数／いじめ発生数					
不登校児童生徒の割合（小・中）		%	小0.98 【C】 中4.45 【B】	小0.8 中4.0	小1.3 【C】 中4.1 【B】	小1.0 中4.1
算式	不登校児童生徒数／児童生徒数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度（評価年度） 目標値	4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	
1	「心の教室相談員」事業			1,066	800	833
	指標	相談員1名当たりの相談生徒延べ人数	人			800
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業			42.2	60.0	25.0
	指標	欠席日数減少者数／前年度不登校者数	%			60.0
3	「心の健康チェック」推進支援事業			0.98	0.80	0.87
	指標	新規不登校者数／児童生徒数	%			0.8

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	「心の教室相談員」事業 【A】	【成果】 いじめの早期発見、孤立しそうな子どもの心の居場所として大きな効果があった。特に、1校に2名配置した中学校では、心の居場所として、生徒の登校に大きな役割を果たした。 【課題と対策】 日頃より、相談員と学校が情報共有を密にして、親身で丁寧な即時対応に結びつける。 相談員の配置については、次年度の学校の実態の見通しを的確に行い、学校の実態に応じたものとする。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	「不登校児童生徒訪問指導」事業 「適応指導教室」運営事業 【C】	【成果】 不登校訪問指導員の訪問回数や適応指導教室の利用者数は、増加し、学校への登校ができるようになった児童・生徒も見られた。その結果、不登校者の学校復帰や欠席日数の減少に効果が見られた。 【課題と対策】 小学校・中学校とも新規不登校の増加が見られた。また、一旦不登校になると、継続する傾向が強い。同時に、ひきこもりに近い状態では該当者へ不登校訪問指導員や適応指導教室の利用を働きかけても、本人や保護者の理解が得られず、活用されにくい状況がみられた。不登校の傾向の初期段階で（登校を渋る状態、校内適応指導教への登校の状態）で積極的な活用を促していく。
3	「心の健康チェック」推進支援事業 【B】	【成果】 「心の健康チェック」アンケートを毎月適切に実施して結果から教育相談等に活用している学校が多くなった。友人や教員との関係等きめ細やかな対応が可能となり、児童生徒の内面や人間関係の把握に活用され、トラブルの予防や改善に、ある程度の効果が見られた。 【課題と対策】 アンケートの実施は、ほぼ対象の学校で実施できている。概ね適切な活用はされているが、不登校の増加を防げていない。不登校の要因となっているものに迅速に対応するタブレットによる入力に切り替え、他の教育相談アンケートと組み合わせて「心の健康チェック」の適切な活用を図り、発生率の減少に努める。

◆Action	今後の事務事業の改善案
4月に改定された「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ対応を確実に学校で実践できるよう指導する。特に、考え、議論する道徳や特別活動を推進したり、「市いじめ対応フロー図」（令和4年度版）に基づき、被害児童等に寄り添う親身な対応で解消に取り組んだりする。いじめの解消・不登校の発生防止のために積極的な「心の教室相談員」、「不登校訪問指導員」、「適応指導教室」の活用を推進する。 児童生徒の心の変化を継続的に調査する「心の健康チェック」の一層の活用を図る。アンケートの実施をタブレットで行い、データ処理を迅速化し、その累積されたデータと各学校での適切な相談業務を連携させて有効な指導に生かせるよう支援していく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	総合教育センター事業					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策 10 大学や研究機関を活用した教育】					
事業概要	教員の研修講座を開催する。（基本研修、課題別研修、自主研修他）					
対象	教職員、児童、生徒					
意図（目標）	・ 大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動例について小中学校等に提案する。 ・ ICT等のシステムを活用し、遠隔地の大学や研究機関と教職員研修を中心とした交流を進める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）		%	66 【C】	100	74 【C】	80
算式	実施小中学校数／市小中学校数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	学習意欲向上プロジェクト				—	13	9	13
	指標	中学校区各校への働きかけ		校				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	学習意欲向上プロジェクト 【C】	【成果】 学習意欲向上プロジェクトでは、島外の「先進校視察」または「講師招聘」を中学校区で選択して行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、先進校視察が1中学校区、講師を招いた対面での研修会は2中学校区、オンライン研修に切り替えて実施が6中学校区であった。 【課題と対策】 現場の負荷にならない程度の働きかけは行ってきたが、令和4年度は更に各中学校区の幹事校との連絡を密にして情報提供にも努める。

◆Action	今後の事務事業の改善案
令和4年度も本事業を継続する。従来、講師招聘か島外視察のいずれかであったが、予算の範囲内でオンライン研修と島外視察の併用を認めることとしたい。コロナ禍で研修会自体が少なくなっているため、オンラインも含め、各校に積極的な情報提供を行っていく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課			
事務事業名	グローバル人材育成事業（市立学校等人材育成事業）					
教育大綱基本方針	佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進					
基本目標	4 高等教育・研究機関等との連携の強化 【施策11 大学・大学生等との交流】					
事業概要	市立小・中学校、高等学校等が市内の人材や地域性を活かした教育活動によりキャリア発達を促進し、将来を担い、地域社会の発展に貢献する児童・生徒の育成を目的とした事業の経費を支援する。					
対象	児童、生徒					
意図（目標）	・ 大学関係者や大学生等と市内小中学校、高等学校が交流する教育活動を奨励する。 ・ 市内高等学校と連携し、児童生徒の視察研修を支援する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）		%	34 【C】	40	37 【B】	40
算式	大学・大学生等と交流した学校数／全小・中学校数					
海外研修支援の件数		件	－ （中止）	1	－ （中止）	1
算式	海外研修支援の件数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供			—	2	2	2
	指標	校長会における情報提供の回数	回				
2	佐渡地区高校生海外訪問			— (中止)	5	— (中止)	5
	指標	参加生徒数	人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価				
枝番	細事業名	成果及び課題と対策			
1	校長会における大学との連携にかかわる情報提供 【B】	【成果】 校長会において大学と連携した教育活動の実践事例の紹介をし、実施を推奨した。 【課題と対策】 新型コロナウイルスの影響により、大学生との交流活動は行われず、大学教員のオンラインによる授業参加がほとんどであった。			
2	佐渡地区高校生海外訪問 【—】	【成果】 佐渡地区高校生アメリカ海外研修を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、実施を見送った。 【課題と対策】 今後の海外への訪問事業の在り方について、実際の訪問ができない時の、それに代わる代替策が必要である。			

◆Action	今後の事務事業の改善案
視察研修の実施においては、今後、募集対象を小・中学生にも広げ、将来の地域社会を担う児童・生徒の育成を図る。 また、視察研修が困難な場合は、オンライン等による文化交流などを推し進めていく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	生涯学習事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	市民が趣味や教養を高める等、自己を充実することをはじめ、生活上の課題や地域課題を解決することができ、又、活動の継続が図れるよう各種学習の機会を提供する。					
対象	市民					
意図（目標）	人と人との学び合いやふれあいを深め、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人一人の人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力あるまちづくりと地域社会の形成や発展を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
生涯学習事業参加者		人	5,387 【C】	13,000	5,694 【C】	13,000
算式	生涯学習事業参加者数					

◆ D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度 (評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標 (成果) 指標		単位		目標値	実績値	
1	市民大学講座				522	600	605	600
	指標	市民大学講座受講者数		人				
2	高齢者学級				626	800	682	800
	指標	高齢者学級参加者数		人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名		成果及び課題と対策			
1	市民大学講座 【A】		【成果】 目標人数を達成することが出来た。 【課題と対策】 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした講座があった。 市民の皆様に楽しみにしていただいたにもかかわらず、上手く学習の場を提供できなかったことが課題である。 今後は、オンラインを活用するなど、コロナ禍であっても開催できる講座の組み方を検討する。 また、令和4年度は関係団体と協力しながら、文化芸術の振興や伝統芸能、佐渡金銀山やSDGsなど、市民の方に知っていただきたい情報を市民へ提供する。			
2	高齢者学級 【B】		【成果】 高齢者を対象に意欲的に学習の場に参加してもらい、仲間づくりや健康づくりに取り組みながら、生きがいを見つけてもらう場を提供した。 【課題と対策】 例年同じ方が参加することが多くなり、参加者の固定化や新規参加者の減少が課題である。 多くの高齢者が楽しみながら教室に参加して、生きがいを見つけてもらえるよう、新規参加できる環境を増やしたい。			

◆Action	今後の事務事業の改善案
生涯学習の理念に基づき、家庭教育、青少年教育、高齢者学級等様々な世代を対象にした講座の開催に取り組んでいく。 また、各種事業内容についてはアンケート調査を実施し、参加者の要望を講座等に取り入れ、ニーズに沿った講座を開催するほか、佐渡市として取り組むべき文化や芸術を振興する講座を開講し、佐渡市の今日的課題解決に寄与する。 さらに、事業の開催に当たっては、佐渡市子ども会連絡協議会をはじめ、各関連団体との連携も視野に入れて事業に取り組む。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	公民館活動推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策12 公民館の利用促進】					
事業概要	公民館講座を開催し、市民の学習意欲を高めるとともに、成果の発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民協働により開催する。					
対象	市民					
意図（目標）	交流・学習の機会を作り、市民の学習意欲を高めるとともに、地域や参加者の協働精神を醸成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度	3年度（評価年度）		4年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	
公民館利用者数		万人	10.3	18.0	14.1	18.0
算式	公民館利用者数		【C】		【C】	

◆Do	事務事業を構成する主な細事業				
枝番	事務事業を構成する主な細事業		2年度 実績値	3年度（評価年度） 目標値	4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位	実績値	
1	登録自主講座				
	指標	登録自主講座数	件	282	283
2	公民館講座				
	指標	公民館講座数	件	26	22

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	登録自主講座 【B】	【成果】 コロナの影響、指導者不足及び指導者・受講者の高齢化等により講座数が減少した。 【課題と対策】 指導者不足や高齢化の影響はあるが、今後はますます人口が減少することになり、このままでは、これまでと同じような数の自主講座が開設されるのは難しいことから、公民館講座等で数年かけて後継者育成等を行い自主講座で活動できるよう進めて行く。
2	公民館講座 【A】	【成果】 趣味や生きがいづくりに寄与することにより、心と身体の健康づくりへつながることができた。 【課題と対策】 学習機会の創出は行っているが、受講生が毎年同じ講座や、市民の要求課題だけでは同じような内容の講座を長年開設してしまうことがある。これらを解消するため、公民館講座として3年経過した講座は、自主講座で活動できるようすすめて行く。また、必要課題と要求課題に対応する講座をバランスよく実施していく。

◆Action	今後の事務事業の改善案
市民の交流・学習機会を提供し、地域や参加者の協働精神を醸成するために、毎年開講している講座だけでなく、佐渡市として進め必要のある伝統文化や芸術振興に関する講座や時代のニーズに対応した新たな講座を開催し、新規参加者の獲得、後継者の育成を進める。 また、公民館講座として定着したものについては自主講座への移行を薦め、市民が自立して生涯学習を実践できる仕組みづくりを進める。 そして、受講生の成果発表の場とし芸能祭・文化祭を開催し、参加者の生きがいづくりや心と身体の健康づくりを推進する。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	スポーツ推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策13 スポーツの推進】					
事業概要	スポーツ推進審議会運営事業、スポーツ指導者講習会開催事業、スポーツ大会・教室等運営事業、スポーツ少年団支援事業等、市民のスポーツ推進のための企画、運営、指導、助言を行うとともに、スポーツ競技団体の育成、関係団体の組織体制強化を進める。					
対象	市民					
意図（目標）	・子どもから高齢者までのさまざまなニーズに対応できるスポーツ環境の充実を図る。 ・スポーツを通じて世代間の交流を深め、市民相互の理解と連携・協力体制を築く。 ・スポーツに関する情報をいつでも手軽に入手・発信できるような情報提供の仕組みの充実を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
体育施設利用者数		万人	32.0 【C】	51.1	37.7 【C】	51.1
算式	体育施設利用者数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	スポーツ教室等開催事業				539 (40回)	1,700 (80回)	1,146 (81回)	3,000 (150回)
	指標	参加者数(開催数)		人 (回)				

◆Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	スポーツ教室等開催事業 【C】	【成果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画通り実施できない教室等があったため、参加者数は目標値を下回る実績となった。 【課題と対策】 親子スポーツ教室、ウォーキングや筋トレ・ストレッチなどのエクササイズ教室など、日頃スポーツをしていない人も気軽に始められる教室を各地区で開催することで、市民がスポーツに親しむ機会と交流の場を提供する。	

◆Action	今後の事務事業の改善案
成人のスポーツ実施率や子どもの体力の低下、高齢者の健康対策が指摘される中、年代に応じたスポーツ活動を行うきっかけをつくり、一層のスポーツ推進を図る必要があることから、佐渡市スポーツ推進委員協議会、(一財)佐渡市スポーツ協会、地区スポーツ協会と連携し、佐渡市スポーツ推進計画に基づき事業を展開する。また、指導者講習会の実施や、指導者の資格取得を支援することで、それぞれの世代が必要とする運動を指導する専門人材を育成し、提供メニューの充実を図るとともに、市内で開催されるスポーツ行事や指導者等の情報を広く提供することで、市民がスポーツに親しむ機会を提供する。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	読書推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 14 佐渡の人づくりを支える、地域の学びの拠点としての図書館運営】					
事業概要	図書館サービスの一環として、各種催しを行う。 ・ブックスタート事業・育児支援活動 ・子ども読書レベルアップ研修ほか各種事業実施 ・保育園、小学校、中学校、高校との連携（団体貸出他） ・図書館間相互貸借事業（県立図書館、新潟大学附属図書館、各公共図書館） ・幼児期から高齢者までを対象とした読書推進活動の実施					
対象	市民					
意図（目標）	・幼児期から高齢者まで本に親しんでもらうために、おはなし会や読書週間に多彩な事業を展開する。また、図書館から遠い地域に移動図書館車を運行し、読書の推進を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
図書館・図書室の来館者数		万人	10.0 【B】	15.0	12.1 【B】	15.0
算式	図書館・図書室への延来館者数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度	3年度(評価年度)		4年度
	指標	目標(成果)指標	単位	実績値	目標値	実績値	目標値
1	読書推進事業			361,469	360,000	362,982	360,000
	指標	蔵書冊数	冊				
2	図書館間相互貸借事業			1,197	1,500	1,879	1,900
	指標	市外図書館等からの借受冊数	冊				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	読書推進事業 【A】	【成果】 令和3年度、佐渡市の図書館・図書室全体で新たに登録をした図書は、9,169冊（内購入は5,371冊）である。図書のみならず、雑誌・AV等の貸出等を行うことで、読書活動や個人の学習活動の支援に寄与している。 コロナ禍により令和2年度は利用減少したが、令和3年度は回復基調にあった。感染対策を行いながらおはなし会などの行事を実施することができた。 令和3年度は小学生向けの学習図書の拡充と、小学校向けに学習用の本のテーマリストの配布を実施し利用の促進を図った。 【課題と対策】 蔵書冊数が増え、利用者に提供できる資料の冊数も種類も増加してきている一方で、書架が手狭となってきており、書庫も満杯となってきている。また令和3年度を除籍冊数は8,323冊であり、古い本が目立つような状況となっており、受入れ冊数と同程度の冊数を除籍するなど、適切な除架・除籍に努め、蔵書の維持を図りたい。				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	図書館間相互貸借事業 【A】	【成果】 窓口での案内等により利用者にサービス内容が浸透してきている。 令和3年度については、「新潟県内小規模図書館等支援事業」を活用し、両津図書館で200冊、さわた図書館で300冊を借り受け、利用者に提供した。実績値の1,879冊に、この500冊が含まれている。 【課題と対策】 引き続き、利用者のニーズを把握し、求める資料を提供できるよう情報収集や職員のスキルアップに努めたい。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	コロナ禍により、落ち込んだ利用も、令和3年度は回復基調にあった。感染対策を行いながら行事等を実施することもできた。令和4年度は子供のころからの図書館利用の定着を目指し、親子向けの行事等を実施、図書館の利用の促進に努めたい。 また図書館・図書室の蔵書についても、適切な除架・除籍を行い、利用したくなる書架を維持できるよう努めたい。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	博物館・資料館管理運営事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	佐渡の歴史・文化・自然の調査研究と普及啓発活動を円滑に進める。					
対象	市民、国内外の観光客等					
意図（目標）	来館者に佐渡の歴史・文化・自然に対する理解を深めてもらう。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2 年度 実績値	3 年度（評価年度）		4 年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数		人	30,136 【C】	57,800	31,471 【C】	57,800
算式	入館した人数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度（評価年度） 目標値	4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		実績値	
1	佐渡博物館特別展事業			5,097	6,600	4,046
	指標	特別展開催期間中入館者数	人			6,600
2	イベント・体験事業・出前授業			987	1,300	1,437
	指標	参加者数	人			1,800

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	佐渡博物館特別展事業 【C】	【成果】 令和3年度の入館者増加の取り組みとして、企画展では「佐渡ジオパーク推進協議会」や「さどの島銀河芸術祭実行委員会」との共催や、子どもに向けた「夏休み自由研究のタネ」等、新たな視点やアイデアを取り入れた展示を実施することができた。しかし、長引く新型コロナの影響で観光客の入り込みが停滞する状況下では、目標値への到達は困難であった。 ・佐渡博物館・佐渡ジオパーク推進協議会 共催展 794名 「佐渡島大化石展～佐渡で産出する化石と偉大な研究者たちの功績～」 令和3年4月1日～令和3年5月30日 ・企画展「人・ひと・人-作品の中の人びと-」 276名 令和3年6月4日～令和3年7月4日 ・企画展「夏休み自由研究のタネ」 1,096名 令和3年7月7日～令和3年9月12日 ・特別展「恩田耕作・酒川哲保―二人展―」 1,120名 令和3年7月10日～令和3年9月9日 ・佐渡博物館・さどの島銀河芸術祭2021 共催展 「宇佐美雅浩 manda-la 展」 406名 令和3年9月18日～令和3年11月7日 ・企画展「結びの文化」 269名 令和3年9月25日～令和3年11月8日 ・企画展「むかしのくらしの道具－ワラー－」 597名 令和3年11月16日～令和4年1月10日

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		・企画展「佐渡の年中行事」 559 名 令和 4 年 1 月 15 日～令和 4 年 3 月 27 日 【課題と対策】 入館者の増加に繋げるには、博物館の展示内容を充実させ、人に「見に行きたい」と思わせる博物館に作りあげていく必要がある。それには学芸員をはじめ博物館職員が、今の博物館に求められるニーズを知り、効果的な展示方法を学ぶ機会として、他館の視察や研修会への参加を行っていく。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	イベント・体験事業 【A】	【成果】 島民が気軽に博物館へ足を運んでいただく機会として、イベントや体験事業の拡充を図った。小学生を対象にした「ジュニア学芸員養成講座」等の学習の場を設けたほか、新たな体験イベントにも取り組み、どれも定員を超える申込みがあり、市民の興味・関心の高さを知ることができた。 ＜講座＞・ジュニア学芸員養成講座 前期（全 6 回） 5 名 後期（全 6 回） 21 名 ・館長講座 博物館カフェ（5 回） 92 名 ・佐渡学セミナー 87 名 ・シンポジウム 71 名 ＜イベント＞・小木博ナイトミュージアム 25 名 ・羽茂ボタニカル・フェス 161 名 ・さどはくまつり 254 名 ＜体験＞・植物園 金のなる木挿し木教室 57 名 ・植物園 野草茶づくり教室 51 名 ・植物園 スルトン・リーフづくり教室 34 名 ・星空観察 34 名 ・ワラ細工づくり教室 46 名 ＜出前授業＞12 校（小学校 11 校、中学校 1 校）299 名 ＜その他＞・出張！博物館「切り紙展」両津夷商店街 約 200 名 【課題と対策】 参加者がイベントだけに終わらず、博物館へ足を向ける気持ちになるよう、アンケートでニーズ調査を行うなど、内容の充実、工夫を図る。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	市民から親しまれる博物館の実現を目指し、情報収集と博物館資料の調査研究に取り組み、人の興味や関心を集める企画展を開催するとともに、ワークショップ等の体験イベント、小中学校への出前授業のほか、「ジュニア学芸員養成講座」や「館長講座 博物館カフェ」などの博物館講座の充実を図り、博物館の魅力を発信していく。 また、商店街など博物館の外を展示場所に活用するなど、地域と連携した新たな取り組みを行う。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	世界遺産登録推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	・佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を活用した普及啓発事業 ・市民参加型の各種普及啓発事業（講演会、出前授業・出前講座など）					
対象	市民					
意図（目標）	市民の郷土への誇りや文化財保護意識の強化につなげるとともに、世界遺産登録に向けた市民意識の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数		人	323 【A】	320	324 【A】	320
算式	参加者数					
世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数		件	43 【A】	30	53 【A】	45
算式	件数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標		単位		目標値	実績値	
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業				323	320	324	320
	指標	参加者数		人				
2	世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等				43	30	53	45
	指標	件数		件				

◆Check		事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業 【A】	【成果】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した事業があったが、感染症予防対策を講じた上で普及啓発事業を実施し、佐渡金銀山への興味や関心を高め、更に理解を深めることができた。 特に、親子世代向けの事業（体験学習、*ロゲイニング）には、新規参加の方が多数集まり、これまでとは違った支援層の獲得につながった。 *チームで制限時間内にチェックポイントをまわり、得られた点数を競うアウトドアナビゲーションスポーツ 【課題と対策】 世界遺産のユネスコへの推薦を契機に、きらりうむ佐渡展示室の観覧者数の増加につなげるため、市民が気軽に参加できる普及啓発事業を企画するとともに、展示内容の工夫に取り組む。	

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	世界遺産を目指す 佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等 【A】	【成果】 佐渡金銀山への興味や関心を高め、更に理解を深めることができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたが、市内企業・団体・集落の出張説明の利用実績が伸びたことは大きな成果であった。 【課題と対策】 講演会等への参加者の顔ぶれが同じことが多いため、募集方法の見直しやインターネットを活用した発信など幅広い世代の市民が参加できるよう工夫する。また、出前授業を利用していない学校があるため、世界遺産のユネスコへの推薦を契機に、多くの学校に利用を促すよう校長会などの場を利用し、積極的に働きかけていく。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	2022年の世界遺産登録を目指すとともに、若年層への教育活動や幅広い世代・地域への情報発信などに取り組み、市民が佐渡金銀山の魅力と価値を知る機会を提供し、遺跡の保存や活用につながる取り組みを促進する。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	ジオパーク推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	・ 市民等啓発普及運営事業 ・ 市民講座・親子体験 ・ 地域説明会・サイト保全 ・ 推進協議会運営事業（構想、方向性、実施計画等の策定） ・ 講演会・シンポジウム・出前授業等 ・ ジオパークガイド養成事業 ・ 調査研究事業					
対象	市民、教育旅行等の学生、国内外の観光客等					
意図（目標）	島に残る貴重な地質遺産などを市民講座や学校・PTA行事等で周知し、住民同士や観光客との交流を通して理解してもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度	3年度（評価年度）		4年度
算式	指標の算式		実績値	目標値	実績値	目標値
ジオパーク推進事業に携わった人数		人	3,935	5,000	4,781	5,000
算式	人数		【C】		【B】	

◆Do	事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名			2年度実績値	3年度（評価年度）		4年度目標値
	指標	目標（成果）指標	単位		目標値	実績値	
1	市民等啓発普及運営事業			593	2,000	591	2,000
	指標	市民講座や地域説明会に参加した人数	人				
2	講演会・シンポジウム・出前授業等			2,744	2,000	2,615	3,000
	指標	講演会やシンポジウムに参加した人数	人				
3	ジオパークガイド養成事業			129	100	169	200
	指標	ガイドの養成・研修会に参加した人数	人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価		
枝番	細事業名	成果及び課題と対策	
1	市民等啓発普及運営事業 【C】	【成果】 市民講座は、新型コロナウイルスの影響で一部中止となったが、世界遺産推進課と連携した講座を開催できた。また、ジアス認定10周年記念事業のエクスカッションで講師として協力し、市民、来島者に向けた普及啓発を図った。 CNSテレビの番組制作やSNSでの情報発信を行い、新たに夏季期間にジオパークセンターでのジオパークガイドの常駐を試みるなど、島内外への普及啓発に努めた。 【課題と対策】 CNSテレビのジオパークの見どころ紹介の番組が少しずつ市民に浸透してきているので、YouTubeやSNSを積極的に利用して、コロナ禍においてもできるPRを工夫して行う。	

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	講演会・シンポジウム・出前授業等 【A】	【成果】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会等の開催機会は少なかったが、オンラインでの講演会が開催できた。 また、学校での防災教育やクラブ活動等の依頼が増え、ジオパークに関する学習が少しずつ根付いてきた。 【課題と対策】 会場に集まる方法とオンラインとの両方で開催するなど、ジオパークに関する講演会や学習の機会を増やし、ジオパークへの興味・関心を高める。
3	ジオパークガイド養成事業 【A】	【成果】 新型コロナウイルスの影響で昨年度開催できなかったガイド養成講座を今年は開催し、新たなガイド候補を養成することができた。 佐渡金銀山の世界遺産登録に向け、認定ガイドの金山坑道内研修を行うなど、新たなガイド案内にも取り組んだ 【課題と対策】 課題となっているガイドの高齢化・担い手不足対策として、認定ガイドになるまでの期間の短縮や、ガイドの質を維持するためのガイド向け研修などを実施する。

◆Action	今後の事務事業の改善案
令和元年度の再審査で新たに与えられた課題7項目と、前回からの継続課題の2項目の計9項目について、佐渡ジオパーク推進協議会を推進母体として、「第2次佐渡ジオパーク基本計画及び改訂版アクションプラン」に基づき、2年後（令和5年度）の再認定審査までに改善に向けた取組みを進める。 佐渡の文化・歴史・自然と人々の暮らしと、ジオパーク・ジ阿斯・佐渡金銀山の3資産との関連をいかしたツアーを作成し、佐渡が誇る3資産の魅力を伝える。また、それを元に、教育旅行用のコンテンツの洗い出しを行い、商品化することで交流人口の拡大を図る。 令和2～3年度に作成した「オリジナル映像」や、佐渡ジオパークのストーリーをまとめた入門書『よくわかる佐渡ジオパーク』を活用し、島に残る貴重な地質資源や佐渡の成り立ちについて伝え、教育や観光事業を推進する。また、幼児・小学校低学年向けや高学年向けなど、世代に合わせた副読本を作成するなど、子どもの頃から慣れ親しんでもらい、ジオパーク学習の推進や郷土愛の醸成を図る。 県内ジオパーク間での子どもの交流事業や、学術研究フォーラムなどで、子どもの学習成果を発表する機会を設けるとともに、佐渡博物館で世界最古のツチクジラの頭蓋化石展や解説会、和名命名イベントを行うなど、楽しく学ぶことができる取組を進める。 佐渡の大地ならではの「佐渡ジオパーク食」の取組を進め、「食」からもジオパークに親しみをもち、楽しんでもらうよう工夫する。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	世界遺産推進課			
事務事業名	埋蔵文化財調査保存事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】					
事業概要	埋蔵文化財である遺跡・出土遺物等を適切に調査・保存・管理することに併せ、その活用を図る。					
対象	各種遺跡					
意図（目標）	遺跡・出土遺物等の適切な調査・保存・管理及び活用を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
埋蔵文化財出前授業の件数		件	2 【C】	10	10 【A】	10
算式	実施件数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	小・中学校への出前授業実施事業				2	10	10	10
	指標	実施件数		件				
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業				344	10	11	—
	指標	国指定への追加指定にかかる同意数		件				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名		成果及び課題と対策			
1	小・中学校への出前授業実施事業 【A】		【成果】 目標件数を達成することができ、なおかつ小学生が出前授業の内容に興味を示し、意欲的に参加してくれた。 【課題と対策】 新型コロナウイルス対策の徹底、かつ学校への啓発を図る方策、指導者の育成及び確保が課題である。			
2	新穂銀山跡国史跡追加指定事業 【A】		【成果】 同意取得目標数を100%以上達成した。 【課題と対策】 令和3年度で同意取得活動は終了し、文化庁へ国史跡追加指定への手続きを行った（令和4年度中に指定予定）。			

◆Action	今後の事務事業の改善案
遺跡の適切な調査と出土遺物の保存・管理を図ると共に、出土遺物の展示や関連する講演会と小・中学校への出前授業や体験学習などの活用事業を通し、市民の文化財保護意識の醸成に向けた取組を進める。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan		事務事業の概要		担当課		世界遺産推進課		
事務事業名		有形文化財保存活用事業						
教育大綱基本方針		生涯学び活躍できる環境づくりの推進						
基本目標		5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 15 佐渡が誇る資産を活用した学習の推進】						
事業概要		市内指定文化財のうち、有形文化財の適切な保護・保存及び活用を図るため、所有者等が行う修理及び活用に係る経費を支援する。						
対象		有形の指定文化財						
意図（目標）		有形の指定文化財を保護し、後世に残すとともに、その貴重な文化財の活用を促進する。						
事務事業の目標（成果）指標				単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式					目標値	実績値	
国県市指定の有形文化財所有者等へ適切な保存管理について周知し必要に応じて支援する。				%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	支援要望に対する支援対応割合							

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	指定文化財助成事業				15	5	5	8
	指標	助成件数		件				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	指定文化財助成事業 【A】	【成果】 緊急性の高いものから順次継続して修理費用を助成することにより、経年劣化した指定文化財を修復することができた。 【課題と対策】 社会環境の変化により、所有者と行政の力だけでは指定文化財を保存し、継承することが困難になっている。				

◆Action	今後の事務事業の改善案
指定文化財等の保存状態等を把握するため、全所有者への支援制度の紹介に併せて、所有者等による適切保存管理が必要であることを改めて周知するとともに、必要に応じて活動を支援するため助成事業を継続する。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	芸術事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策16 文化・芸術の振興】					
事業概要	・市民のさらなる創作意欲の喚起を図り、芸術、文化の振興に寄与するため、市展を開催する。 ・入間市写真連盟との交流により写真作品の相互展示を行った。 ・佐渡の伝統ある版画を全国に普及するため、全国の高校生が集う「はんが甲子園大会」の支援を行う。					
対象	市民、高校生等					
意図（目標）	・誰もが芸術、文化に親しみ、文化活動に参加し担い手となるよう、さまざまな文化事業等を充実させる。 ・個人や団体が、連携、交流、協力できるよう、活動の場や機会の拡充に努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式		目標値	実績値		
市展出品点数		点	－ （中止）	1,350	1,070 【C】	1,350
算式	出品点数					

◆ D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	市展運営事業				－ (中止)	3,500	3,028	3,500
	指標	入場者数(会期入場者数)		人				
2	市展出品数増加(一般の部)				－ (中止)	300	146	300
	指標	一般の部出品数		品				
3	市展出品数増加(ジュニアの部)				－ (中止)	1,050	865	1,050
	指標	ジュニアの部出品数		品				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	市展運営事業 【B】	【成果】 コロナの影響が大きく、目標入場者数には達しなかった。 【課題と対策】 コロナ対策を講じながら開催しているものの、市民の心情としてはなかなか来場するには難しいのではないかと感じている。 今後も、様々な対策を講じながら、安心して来場いただけるよう工夫をしていきたい。

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	市展出品数増加（一般の部） 【C】	【成果】 コロナの影響が大きく、目標数には大きく届かなかった。 【課題と対策】 主に写真作品の出品点数が減少しているが、聞くところによると、コロナが心配で外出して写真を撮る機会が減ったところであった。また、昨年の市展が中止となったことによるモチベーションの低下もあるようである。 今後は、とにかく中止とならないように、コロナ対策を十分講じたい。そうすることで、モチベーションの低下を防ぎ、創作意欲も維持・向上を図っていただけるよう取り組む。更には、新規の出品者開拓に向け、地区公民館講座参加者、地区文化祭出品者にも出品を促していく。
3	市展出品数増加（ジュニアの部） 【B】	【成果】 思うように作品が集まらず、目標としていた出品数に達しなかった。 【課題と対策】 ジュニアの部は特に出品点数の減少が著しい。これは、各学校に出品数を割り振り、お願いしているが、なかなか協力が得られていないことによる。今後は、もっと積極的に各学校に出品の依頼を行うように努める。

◆Action	今後の事務事業の改善案
減少傾向にある市展の出品点数を維持するため、これまで出品していただいていた方々の創作意欲の維持・向上や新たに出品していただける方の開拓などに力を入れるなど、出品しやすい仕組みづくりについて実行委員会で検討する。 特にジュニアの部は年々出品点数が減少しており、小中学校や幼稚園・保育園から出品いただけるよう、出品規程や学校への案内方法を工夫する。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	佐渡学推進事業					
教育大綱基本方針	生涯学び活躍できる環境づくりの推進					
基本目標	5 一人一人が学び続ける学習環境づくり 【施策 16 文化・芸術の振興】					
事業概要	・ 伝統芸能を中心とした無形文化財の保存及び担い手育成を進め、市民や文化団体等の活動の活性化を図る。 ・ 市の実情に即した計画的な文化振興を図れるよう、「佐渡市文化振興ビジョン」を策定する。					
対象	市民、文化団体等					
意図（目標）	・ 市のアイデンティティである貴重な文化を保存継承するため、担い手となる人材を育成する。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
佐渡民謡団体の活性化		人	462	480	467 【B】	500
算式	佐渡民謡団体の団員数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標		単位		目標値	実績値	
1	無形文化担い手育成事業(佐渡文化財団)				32	36	36	40
	指標	学校等への講師派遣・楽器貸出件数		件				
2	文化発信イベントの開催(民謡祝祭・鈍翁茶会)				— (中止)	500	— (中止)	600
	指標	民謡の祝祭イベントの来客数		人				
3	伝統芸能継承者育成活動の推進				0	1	0	2
	指標	伝統芸能継承事業補助金を活用した取組数		件				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	無形文化担い手育成事業（佐渡文化財団） 【A】	【成果】 無形文化の担い手育成に繋がる取組を行う（一財）佐渡文化財団の運営費の一部を補助することにより、文化財団では以下の事業を実施することができた。 （1）芸能団体のネットワーク化 ・人形芝居の調査、上演会の開催（来場者109名） （2）伝統芸能の常設披露による文化団体活性化 ・佐渡文化・芸能シリーズ「文弥節、佐渡民話を聴く」（来場者40名オンライン含む） ・佐渡市社会福祉協議会と連携した「のろま人形オンライン上演会」 （3）キャリア教育支援及び文化活動担い手育成 ・学校等への講師派遣14件、和楽器貸出18件 ・茅刈り、わら細工ワークショップ 計9回 ・しめ縄づくり通じた就労支援事業 （4）その他 ・支援者や寄付金収入を確保するため「賛助会員制」を導入				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
		【課題と対策】 令和２年度に「文化財団のあり方に関する検討結果」、令和３年９月議会では「所管事務調査報告書」として、文化財団に関する意見が出されている。これらに基づき、文化財団では無形文化の担い手育成を柱とした事業に、役員が職員と一体となって取り組んできたところであり、事業実施に関して一定の成果を上げている。一方で、常勤役員が設置できなかったことなど組織体制の構築において課題が残されている。また、補助金以外の収入が少なく、自主財源の獲得も課題となっている。 適切な人材を早急に確保することで組織体制を構築し、賛助会員の増加に向けた取組や国等の助成金等の獲得などによる自主財源の確保に努めるよう指導していく。
2	文化発信イベントの開催（民謡の祝祭・鈍翁茶会） 【一】	【成果】 ①佐渡鈍翁茶会（益田孝翁顕彰事業実行委員会負担金） 令和３年10月２日の開催を目指し準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 ②佐渡民謡の祝祭（佐渡民謡活性化実行委員会負担金） 令和３年８月22日開催予定が令和４年２月６日開催に延期となったものの、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 【課題と対策】 鈍翁茶会は、格式が高い茶会となっており、鈍翁（益田孝）が好んだ「流派を問わない交流の茶会」になっていない。誰もが気軽に参加でき、益田孝を広く周知できる仕組みが必要である。 民謡の祝祭は、開催直前での中止決定となってしまう、発表機会を楽しみに練習に励んできた民謡団員のモチベーションの低下が懸念されている。コロナ禍の状況を見ながら、令和４年度は早期の実施により民謡団員の練習の成果発表機会を確保する必要がある。
3	伝統芸能継承者育成活動の推進 【C】	【成果】 伝統芸能の継承者を育成する活動を推進するため、芸能保存団体等における一定の要件に該当する活動費の一部を補助する。コロナ禍での文化活動の停滞もあり、令和３年度における交付申請及び交付実績はなかった。 【課題と対策】 伝統芸能を保存継承していくためには、保存団体が自ら後継者を育成する取組が必須であることから、補助金を広く周知することで後継者育成の取組の増加に繋げていく必要がある。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	伝統芸能の担い手育成は、文化の保存継承において喫緊の課題である。一方で、伝承者や担い手、それを支援する者など各主体が役割を認識した中での計画的で長期的な取組が必要なものである。策定される文化振興ビジョンに沿ったアクションプランを策定し、計画的で実現可能な人材育成を図っていくことが重要である。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	青少年育成活動事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	・次世代を担う青少年が夢と希望をもって自立と自己実現を図れるよう、市民と行政機関が協働して育成していく環境づくりを進める。 ・市内 13 地区の青少年健全育成協議会の活動及び地域子ども会連絡協議会の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。					
対象	青少年					
意図（目標）	青少年の健全な育成を図る。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2 年度 実績値	3 年度（評価年度）		4 年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
青少年健全育成事業参加者数		件	7,580	14,000	5,356	11,500
算式	青少年健全育成事業参加者数		【C】		【C】	

◆D o		事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名			2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
	指標	目標(成果)指標	単位		目標値	実績値	
1	青少年健全育成組織支援事業			3,877	6,500	2,187	4,500
	指標	青少年健全育成協議会活動参加人数	人				
2	地域子ども会連絡協議会活動事業			3,703	7,500	3,169	7,000
	指標	地域子ども会連絡協議会活動参加人数	人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	青少年健全育成組織支援事業 【C】	【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響で、活動回数が減ったことに伴い、参加人数は目標を下回ったが、各地区で海岸清掃や料理作り等の体験・交流イベントを行い、青少年の健全育成に努めた。 今年度は、本庁で青少年育成講演会を開催し、市民全体に青少年健全育成について考える機会を提供した。 【課題と対策】 各協議会で、活動内容や地域団体や学校との連携体制に差がある。今後は、各協議会でそれぞれの課題を見出し、関係機関と情報を共有し、課題解決に向けた活動を実施する。また、市民会議等で意見交換をしながら各地区とも連携を図り、活動をより活発にし、青少年の健全育成のため事業を行う。				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	地域子ども会連絡協議会活動事業 【C】	【成果】 新型コロナウイルス感染症の影響による活動回数の減少、子どもの減少による地域子ども会の加入数の減少に伴い、参加人数は目標を下回った。しかし、限られた活動の中で、地域とふれあい、地域を知る機会となった。 【課題と対策】 地域子ども会ごとに活動状況や回数に差がある。また、異学年や他地域との交流が少ないため、佐渡市子ども会連絡協議会で、地域子ども会の全体に向けた活動を実施する。多くの子ども会から参加いただけるよう、地域子ども会の保護者も巻き込み、企画・運営を行う。 また、地域で実施される事業の継続、子どもたちが参加しやすい事業が実施できるよう支援する。

◆Action	今後の事務事業の改善案
インターネットの普及により、子どもたちを取り巻く環境は複雑となっており、生活習慣の乱れやコミュニケーション能力の不足、体力の低下等、様々な課題がみられる。子どもたちが地域や様々な人と関わり合いながら、自ら考え、行動し、他者と共に協調する人間性を養うことが重要である。そのために地域と関係団体等が連携しながら積極的に事業を進めていく。 なお、各組織の在り方や推進体制を改めて検証し、より良い組織の運営方法を検討していく。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	学校教育課・社会教育課			
事務事業名	学校教育振興事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	・家庭教育の啓発活動を推進する。 ・コミュニティ・スクール設置に向けて準備を進める。					
対象	教職員、児童、生徒、保護者					
意図（目標）	・児童生徒の健全育成と学習習慣の確立を目指し、PTAや公民館等において家庭教育の啓発活動を推進する。 ・「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させるとともに「コミュニティ・スクール」の設置を目指す。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度(評価年度)		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
PTA等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）		%	74 【C】	100	88 【B】	100
算式	実施校数／市内小中学校数					
コミュニティ・スクールの設置数（小・中）		校	35 【A】	35	35 【A】	35
算式	設置数					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業					
枝番	細事業名		2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標		目標値	実績値	
1	協議会の運営等支援		—	35	33	35
	指標	PTA指導者研修会の参加校				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会		3	2	2	2
	指標	研修会数				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	協議会の運営等支援 【B】	【成果】 心身ともに健全な児童・生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA活動に関する研修を実施したところ、33名の参加者を得た。 【課題と対策】 PTA活動の活性化を図るため、来年度からもPTA指導者研修会を開催する。				
2	コミュニティ・スクール周知に向けての研修会 【A】	【成果】 研修会の実施によりコミュニティ・スクールへの理解を進めることができた。 【課題と対策】 学校運営協議会と地域学校連携事業が一体的に取り組めるように、リーダーとなる地域コーディネーターとCSディレクター向けの研修会を実施していく。				

◆Action	今後の事務事業の改善案
全小中学校がコミュニティ・スクールとして充実した活動に取り組めるように研修等を実施するとともに、支援訪問により情報提供を行う。 また、各校へPTA指導者研修会の参加を促し、全35校の参加を目標値とする。	

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	社会教育課			
事務事業名	学校・家庭・地域の連携促進事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 17 家庭や地域の教育力向上のための取組】					
事業概要	各小中学校に配置された地域コーディネーターを中心に、地域の人材を活用して子どもたちの学習を支援するなど、地域と学校の連携・協働を推進する。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームと連携し、家庭教育に関する相談対応や親子体験活動を実施し、すべての保護者が安心して家庭教育を行える環境を整える。					
対象	児童、生徒、学校、地域、保護者					
意図（目標）	「地域学校協働活動」や「放課後子ども教室」事業を拡充させる。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2年度 実績値	3年度（評価年度）		4年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）		％ （校）	97 （34） 【B】	100 （35）	94 （33） 【B】	100 （35）
算式	実施校数／市内小中学校数					
学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）		％ （校）	97 （34） 【B】	100 （35）	94 （33） 【B】	100 （35）
算式	実施校数／市内小中学校数					
放課後子ども教室を実施している学校（小）		％ （校）	18 （4） 【B】	45 （10）	40 （9） 【B】	50 （11）
算式	実施校数／市内小学校数					

◆D o		事務事業を構成する主な細事業						
枝番	細事業名				2年度	3年度(評価年度)		4年度
	指標	目標(成果)指標		単位	実績値	目標値	実績値	目標値
1	放課後子ども教室参加事業(子ども)				225	1,600	6,517	7,200
	指標	参加した子どもの人数		人				
2	放課後子ども教室参画事業(地域住民)				86	550	947	1,100
	指標	参画した地域住民の人数		人				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価					
枝番	細事業名	成果及び課題と対策				
1	放課後子ども教室参加事業（子ども） 【A】	【成果】 昨年度より放課後子ども教室数が5教室増え、子どもの参加人数も大幅に増えた。 【課題と対策】 子どもたちにより多くの体験や学びを得てもらうため、活動環境や活動内容を変えながら取り組む。また、アンケート結果から子どもたちや保護者が希望する活動を組み込み、充実した活動となるよう実施する。				

枝番	細事業名	成果及び課題と対策
2	放課後子ども教室参画事業（地域住民） 【A】	【成果】 昨年度に比べ、放課後子ども教室実施校及び活動回数が増えたことにより、携わる地域住民が増えた。地域コーディネーターを中心に、子どもたちが充実した活動を行えるような環境を整備した。 【課題と対策】 参画する地域住民が固定化されており、より幅広い地域住民の参画を得るため、地域の団体や中学校と連携した体制を検討する。今後も、各教室での活動内容や事業内容を広く周知し、理解を図るとともに、学校や地域とも連携しながら、活動を行う。

◆Action	今後の事務事業の改善案
	地域学校協働活動では、地域コーディネーターが様々な地域人材を活用し、学校行事や授業補助等の学校を支援する活動が主である。今後は、学校運営協議会と地域学校協働本部が連携・協働し、地域課題や学校課題の解決に向けた活動、目指す子ども像に向けた活動を実施するなど、地域全体で子どもたちの成長を支える活動を推進する。それに伴い、地域の教育力の向上を図り、子ども達の社会性の向上や社会を生き抜く力を育む。 家庭教育支援については、親子でふれあい、楽しみながらできる活動を実施するとともに、家庭教育や性教育に関する学習機会の提供を行う。また、子ども若者相談センター等、関係機関と連携を図り、充実した事業に繋げる。 行政として、地域学校協働本部や各役職の役割を明確にし、学校・家庭・地域の理解を得て、協力要請を行う。また、学校教育課と密に連絡を取り、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体的に推進できるよう、体制を整える。また、学校の地域連携担当教員や地域コーディネーターを対象とした研修会を実施し、それぞれの役割、先進地域の事例等を説明し、一人一人が当事者意識を持ち、活動に取り組めるよう支援する。

令和4年度（令和3年度の事務対象）の評価票

◆Plan	事務事業の概要	担当課	教育総務課			
事務事業名	児童援助事業・生徒援助事業					
教育大綱基本方針	家庭・地域の教育力の充実					
基本目標	6 家庭・地域の教育力の充実 【施策 18 虐待や貧困から子どもを守るための関係機関との連携強化】					
事業概要	経済的に困窮している児童生徒の保護者に学用品費や学校給食費、修学旅行費等の援助を行う。					
対象	児童、生徒の保護者					
意図（目標）	就学援助が必要とされる家庭すべてに行き届くよう努める。					
事務事業の目標（成果）指標		単位	2 年度 実績値	3 年度 (評価年度)		4 年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値	
幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）		%	100 【A】	100	100 【A】	100
算式	関係機関と連携している割合					

◆Do	事務事業を構成する主な細事業				
枝番	細事業名		2年度 実績値	3年度（評価年度） 目標値	4年度 目標値
	指標	目標（成果）指標	単位	実績値	
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業		97	100	85
	指標	申請書の回収率			
	指標				

◆Check	事務事業を構成する主な細事業の自己評価	
枝番	細事業名	成果及び課題と対策
1	要保護・準要保護児童生徒援助事業 【B】	【成果】 児童・生徒が家庭の経済事情に関係なく、通常の学校生活を送ることができ、義務教育段階での教育機会の平等化につながった。 【課題と対策】 児童・生徒数は減少傾向であるが、認定者数は横ばいとなっているため、継続的な支援が必要である。 制度を周知徹底するために、保護者の申請書の回収率を上げていく。

◆Action	今後の事務事業の改善案
申請書の簡素化や事務手続きにおける簡略化をすすめ、申請者や学校での過度の負担とならぬよう取り組んでいく。 平成17年から就学援助制度の認定基準や給付内容は、国レベルでの一律の基準は設けられておらず、就学援助制度の運用は自治体の裁量に委ねられている。国や他の自治体の動向を常に注視し、国の方針や近隣市町村の事例を参考にしながら運用していく。	

評価

施策実施上注目すべき数値の一覧

基本 目標	施策	指標	R1 数値	R2 数値	R3 目標値	R3 数値	R6 目標値
1	1	全国学力・学習状況調査の平均正答率の全国との差（小・中）【%】	小+0.3 中-2.4	— (中止)	小+1 中±0	小国-0.7 小算-3.2 【C】 中国-0.6 中数-3.2 【C】	小+2 中±0
		標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合（小・中）【%】	小100 中47	小84 【B】 中62 【A】	小90 中60	小80 【B】 中52 【B】	95
	2	すべての学級で道徳の授業を公開している割合（小・中）【%】	100	100 【A】	100	77 【C】	100
		人権教育、同和教育に関する公開授業や指導案づくりを実施している割合（小・中）【%】	100	86 【B】	100	97 【B】	100
	3	学校給食における地産地消の献立の実施状況（小・中）【%】	22	20 【C】	30	19 【C】	30
	4	基準に基づく介助員の配置割合（小・中）【%】	100	100 【A】	100	100 【A】	100
		「個別の教育支援計画」を作成・活用している割合（小・中）【%】	100	100 【A】	100	100 【A】	100
	5	保育園・幼稚園との教育活動の交流を行っている割合（保幼・小）【%】	100	73 【C】	100	64 【C】	100
2	6	課題解決学習を取り入れた職場体験活動を実施している割合（中）【%】	100	100 【A】	100	100 【A】	100
		「みらい'sノート」を活用したキャリア教育を実施している割合（小）【%】	91	100 【A】	100	100 【A】	100
	7	小・中の英語教育の円滑な接続のための研修や交流を実施している割合（小・中）【%】	100	100 【A】	100	69 【C】	100
		ICTの効果的な活用に関する授業研修を行っている割合（小・中）【%】	54	74 【C】	100	100 【A】	100
3	8	通学路点検の実施割合（小・中）【%】	100	100 【A】	100	100 【A】	100
		防災教育の実施割合（小・中）【%】	89	100 【A】	100	100 【A】	100
	9	いじめの解消率（小・中）【%】	88	94 【B】	100	91 【B】	100
		不登校児童生徒の割合（小・中）【%】	小0.74 中4.78	小0.98 【C】 中4.45 【B】	小0.8 中4.0	小1.3 【C】 中4.1 【B】	小0.70 中3.65

基本 目標	施策	指標	R1 数値	R2 数値	R3 目標値	R3 数値	R6 目標値
4	10	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合（小・中）【%】	83	66 【C】	100	74 【C】	80
	11	大学・大学生等との交流を行った割合（小・中）【%】	43	34 【C】	40	37 【B】	60
5	12	公民館利用者数【万人】	17.1	10.3 【C】	18.0	14.1 【C】	18.0
	13	体育施設利用者数【万人】	45.6	32.0 【C】	51.1	37.7 【C】	51.1
	14	図書館・図書室の来館者数【万人】	16.4	10.0 【C】	15.0	12.1 【B】	15.5
	15	博物館・資料館及び類似する文化施設に入館した人数【人】	52,347	30,136 【C】	57,800	31,471 【C】	66,000
		佐渡金銀山ガイドンス施設「きらりうむ佐渡」を会場とする普及啓発事業への参加者数【人】	387	323 【A】	320	324 【A】	500
		世界遺産を目指す佐渡金銀山をテーマとした講演会・講座等の件数【件】	22	43 【A】	30	53 【A】	90
		ジオパーク推進事業に携わった人数【人】	5,367	3,935 【C】	5,000	4,781 【B】	5,000
		埋蔵文化財出前授業の件数【件】	13	2 【C】	10	10 【A】	14
	16	市展出品点数【点】	1,205	— (中止)	1,350	1,070 【C】	1,300
6	17	P T A等で家庭教育啓発活動を実施している割合（小・中）【%】	83	74 【C】	100	88 【B】	100
		地域コーディネーターを活用し、地域との連携・協働を図っている学校（小・中）【% (校)】	85 (30)	97 (34) 【B】	100 (35)	94 (33) 【B】	100 (35)
		学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施している学校（小・中）【% (校)】	40 (14)	97 (34) 【B】	100 (35)	94 (33) 【B】	100 (35)
	18	幼児児童生徒の現状把握のため、関係機関と連携している割合（幼保・小・中）【%】	100	100 【A】	100	100 【A】	100

3 総評

令和3年度に執行された佐渡市教育委員会の所管事業の事業内容及び内部評価について、事務点検評価者として次のとおり総評する。

- (1) 全体的に評価項目が整理されており、見やすくなっている。前年との比較や翌年の目標が示されているのは分かりやすい。目標の根拠（変えた場合）も、「Action」等に記入するとよい。
- (2) 事務事業の目標指標で達成したら、その後は変化しないと予測されるものがある。早期に達成された場合はどのように記載するか検討してもらいたい。
- (3) 目標値については、令和6年度の最終目標は変えられないと思うが、コロナ禍等の影響を加味して令和4年度の目標値を変更した事業もあった。令和4年度の実績を吟味して令和5年度の目標値を検討してもらいたい。
- (4) 佐渡市の社会教育・スポーツの重点的取組を明確化したことは評価できる。その具体化が次の課題である。については、地区の特性を損なうことなく、各地区と十分協議し、進められたい。
- (5) 各担当課とのヒアリングにより、取組状況がよく分かったし、新たな課題が見えてきた部分もあった。解決は難しい面もあるが、単独ではなくいろいろな部署と連携を図りながら対処してもらいたい。

【項目別の主な評価、意見】

(1) 総合教育センター事業・学校ICT活用サポート事業

児童生徒の学力の向上と家庭学習習慣の定着について、教職員の取り組みと頑張っている点は評価するが、更に教育技術を伸ばすため、今後も教職員の研修の充実を望む。

ICT活用研修会に重点を置いている点は評価できる。時代の流れは速く、ICT環境をすべての教職員が活用できることが当たり前になってくる。研修や意識改革に努めてもらいたい。

(2) 地域ぐるみの学校安全体制整備促進事業

スクールガードリーダーの確保に課題があるようだが、問題点は何かを洗い出し、負担感を減らし、参加しやすい体制を再構築する必要がある。各種団体や機関との連携も必要である。

(3) 心の教育支援事業

「心の健康チェック」のタブレット活用に期待する。早期の問題点把握は重要であるが、その後の相談業務の充実がより大きなウエイトを持ってくる。担当者のスキルアップに努めてもらいたい。

(4) 公民館活動推進事業

社会教育事業・公民館事業を整理し、マンパワーに合った事業展開をされたい。

(5) スポーツ推進事業

「佐渡市スポーツ推進計画」の6つの基本方針で自主展開すること、指導者を育成すること、全面に力を入れてテコ入れすることなどを整理し、その成果をどういった面で評価するかを検討されたい。

(6) 読書推進事業

両津図書館の改築で利用者数が伸びたことから、図書館の環境が利用者数に大いに関係してくる。老朽化の進む図書館の対応を考えるべき時期だと思う。

(7) 博物館・資料館管理運営事業

見る施設から体験する施設への意識改革は大いに評価できる。他施設との連携も含めて、新たなイベントや情報発信に努めてもらいたい。

(8) 芸術事業

市展のジュニアの部は時代の変化を表出するものであると思われる。ジュニアの部を市展に設けた意義を再確認し、改めてジュニアの部のあり方を検討されたい。